



# 河小だより

四日市市立河原田小学校  
第4号 令和4年 4月22日

新しい学年が始まり2週間。少しずつ新しい学級にも慣れてきた様子を明日の授業参観では見ていただけることと思います。25日(月)からは、家庭訪問が始まります。ご家庭での子どもたちの様子を聞かせていただくとともに担任の思いや学校での様子を知る機会と考えています。短い時間での訪問となりますが、ご協力いただき、家庭訪問で話せなかったことは継続して担任と話をさせていただくことで家庭と学校が連携して子どもたちの成長につなげていきたいと思っています。

## C4thの登録・活用を

新1年生の保護者の皆さまは登録がお済でしょうか?四日市市では校務支援システムとして「C4th Home&School」を導入しています。これを使って学校からの連絡を配信したり、欠席連絡をしていただいたりするなど活用していきます。

お子さんの欠席連絡については、C4th Home&Schoolの活用、電話連絡や連絡帳を使って連絡する等の方法で8:30までにお知らせください。

登録がまだの方がお見えでしたら担任までお知らせください。



## 学校への連絡について

学校への連絡については、今年度も授業がある日の7:45~18:00となっています。電話で連絡や相談のある方はこの時間帯に連絡いただきますようお願いいたします。また長期休業中は8:30~17:00となっています。

また毎月配付している下校時刻一覧表の中に「定時退校日」「完全定時退校日」という記載があります。「定時退校日」は18時まで、「完全定時退校日」は17時に職員が退勤します。

これは、学校教育目標の達成に向けて職員が元気で健康であることが欠かせないものです。職員のワークライフバランスのとれた勤務が健康保持増進にもつながります。

ご理解いただくとともにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

## HPでの情報発信

河原田小学校ホームページが<http://www.yokkaichi.ed.jp/~kawarada/cms2/htdocs/>で見ることができます。子どもたちの様子をできるだけ掲載しながら日々の学校生活を知っていただく機会となるように発信するように心がけていきます。学校づくりビジョンについても令和4年度版を掲載いたしましたので、ご覧ください。

先日PTA総会要項を掲載いたしました。本来であれば、総会を開催し、会員の皆さまからご意見をいただくとともにPTA活動方針についてご理解いただくのですが、感染症対策のため、書面総会となったことにご理解いただくとともに活動方針や計画などご覧いただきますようよろしくお願いいたします。

令和4年度PTA活動スローガン「学校と親子で育む 絆と未来」それを達成するための基本方針を受け、学校と保護者地域が協力して子どもたちの明るい未来を創っていききたいと思います。



## 子ども読書の日

4月23日（土）は子ども読書の日となっています。本校では朝の学習の時間や授業のすきま時間に読書をするよう取り組んでいます。

一昨年度から図書室が北校舎1Fに移動したことで読書時間や貸し出し冊数が減少している傾向が見られます。本を読むことで新しいことを知ることができたり、今まで知っていたことを深められたりします。教員からの読み聞かせやお勧めの本を紹介するなど本に対して興味を持たせるよう取り組んでいます。ご家庭でも保護者の方からおすすめの本を紹介していただいたり、いっしょにテレビを消して読書タイムをしていただいたりすることで子どもたちの読書に対する関心が高まることを期待しています。



【校長先生からのおすすめの一冊】

### 「不可能を可能にする大谷翔平 120の思考」

・「誰もやったことがないことをやりとげたい」、「他人がポイって捨てた運を拾っているんです」という大谷選手のポジティブな考え方を真似していきたいですね。

### 「メシが食える大人になる！よのなかルールブック」(高濱正伸著)

・「いいことを言うよりもよい行動をとる」、「ありがとう」を口ぐせに

2冊とも自分の生き方や目標を見直すきっかけになる書籍です。「よのなかルールブック」は昨年度まで勤務していた特別支援学校での保護者への進路説明会で紹介されました。社会でのルールや考え方がたくさん書かれています。

## 全国学力・学習状況調査

19日（火）全国の6年生とともに河原田小学校でも全国学力・学習状況調査を行いました。今年度は、国語、算数、質問紙に加えて理科の学習状況調査も実施されました。

現行の学習指導要領の理念に沿い、知識や理解した内容をどう活用し、どのように表現していくのかという問題が多く、子どもたちも問題を読み悪戦苦闘している様子が見られました。また考え方を表現して回答する問題やプログラミング的思考について問われる問題もあり、今後子どもたちに対してつけていけないといけない力の指標ともなっています。

全国学力・学習状況調査は、各都道府県別の平均得点や順位が公表されたり、報道されたりしますが、この結果を受け、子どもたちの得意なこと苦手なことは何なのかを分析し、それを伸ばしたり克服したりすることが大切だと考えています。

そのためには、日々の授業に興味をもたせ、友達の考え方を聞き合い、自分の考え方以外にも多様な考え方を取り入れ、視野を広げられるように授業実践を積んでいきたいと思えます。

子どもたちはたくさんの問題を一生懸命理解しようと集中して読み、回答用紙に書いていました。最後まであきらめることなく、集中して取り組むことができた姿は、大変立派だったと思えます。

